

大安寺報

第72号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp
http://www.daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

梅は寒苦を経て清香を発す

出典不明

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われる通り、春のお彼岸の頃になると、寒さもひと段落し、雪も次第に姿を消し、大地からはフキノトウやミスバショウが顔を出すなど、春の気配が感じられるようになります。そして、四月後半になるといよいよその顔をのぞかせるのが梅の花。その可憐な花と清らかな香りは私たちを楽しませてくれます。そんな梅の花は、冬の厳しい寒さに耐えて花を咲かせますが、果たして冬は厳しい寒さを与えるだけなのでしょうか？

梅は冬の厳しい寒さにさらされることによつて、春が近いことを感じ、そのつぼみをほころばせます。花を咲かせた後は、春のあたたかさや育まれた梅の実を実らせ、やがて地面に落ちた実から新たな生命が生まれます。夏になるとその暑さによつて葉を精一杯茂らせて枝を伸ばし、木全体が成

長していきます。やがてその葉を落とし、冬になる準備をするのです。こうして考えると、どの季節も全て梅にとって必要不可欠なものです。ただ厳しいとばかり思われがちな冬もまたそうなのです。

長く続いたコロナ禍やウクライナをめぐる戦争による物価高などにより、多くの方がつらい状況におかれています。また、大切な方を亡くし、その悲しみの只中にいらしやる方もおられることでしょう。しかし、そのつらい状況や悲しみはいつまでも続くわけではありません。「禍福は糾える縄の如し」ということわざが示す通り、この世の不幸は表裏をなして、何が不幸のもとになり、何が幸福をもたらすかわからず、おつらい方は、今のつらさを抱きしめて、生きている「今」を大切に過ごして参りましょう。



仏事

Q&A 第四十七回

Q. 位牌について教えてください。
A. 位牌は個人の戒名や没年月日などが記されるだけでなく、依り代と考えられています。従来、位牌は「野(仮)位牌」「内位牌」「寺位牌」の三種類があり、祀られる場所が異なります。野(仮)位牌は人が亡くなると作られる白木の簡素なもので、墓前に祀られ朽ち果てるにまかせるとされています。内位牌は施主家で祀る位牌で本位牌と呼ばれ、漆塗りの位牌です。寺位牌は寺院に位牌堂がある場合、そこに納め祀るものです。位牌は仏壇のご本尊さまや内部の作りにあわせ、大きさを選択します。また位牌は本来一人ずつ作るのですが、夫婦の場合、一つの位牌に二人の戒名を連ねることもあります。また、先祖位牌が多い場合は、「繰り出し位牌」を用いるか、先祖代々の戒名と命日などを記した精霊簿(過去帳)を用いるとよいでしょう。多くの場合、位牌は台座が蓮華の形をしています。これは仏・菩薩がのる台座であり、そこに成仏した故人を祀り、敬っているのです。

出典：『仏事Q&A曹洞宗』曹洞宗総合研究センター

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について(令和五年三月十三日より)

- ・マスク着用については個人の判断に委ねることを基本とします。
- ・屋内におけるマスク着用については、以下の場合の着用を推奨します。
 - ①会話を行う場合。
 - ②身体的距離が確保出来ない場合。
- ・発熱(37.5度以上)のある場合は法要への参列・参拝をお控えください。
- ・引き続き、「三つの密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」にご協力ください。

行事予告

大安寺 花まつり

お釈迦さまの誕生をお祝いする恒例行事を開催いたします。



- 開催日：令和五年五月八日(月)
- 午前九時～午後二時
- 共催：大安寺保勝会
- 釈尊降誕会法要 午前十一時～(本堂にて)

曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は 03-3454-5410
※4月4日～10日
「初心にかえる」
※5月23日～29日
「びんずるさん」
(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-218-4444

【維持費納入について】
令和四年度分維持費(四千元)の納入がお済みでない方、また、お手元にゆうちょ銀行払込取扱票が届いていない方は、当寺までご連絡ください。(最終納付期限は令和五年三月三十一日です)なお、令和五年度分維持費関係書類は令和五年六月末から郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けする予定です。

各種講座のご案内(令和五年三月～五月)

- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
日時：三月二十六日(日)、四月二十三日(日)、五月二十八日(日) 午後一時～三時
内容：ミニ法話と写経・写仏と茶話会
場所：中広間 参加費：五百円 備考：全席椅子席
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：四月二日(日)、十六日(日)、五月七日(日)、二十一日(日) 六月四日(日)
午前七時～八時十五分 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介と坐禅と法座
場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- 三月十五日(水)午前十一時～
「涅槃会法要」(本堂)
※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
※「だんごまき」を実施します。
- 三月二十一日(火・春分の日)午前十一時～
「春季彼岸会法要」(本堂)
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて
- 五月八日(月)午前十一時～
「降誕会法要」(本堂)
※お釈迦さまの降誕(誕生)にちなみ、報恩感謝する法要です。

編集後記

約三年もの間続いたコロナ禍ですが、ワクチン接種の普及に伴う重症化率の低下などを背景に、マスク着用が個人の判断に委ねられるなど、少しずつ収束に近づいているようで大変うれしく思います。当寺の行事も、少しずつ以前の形態に戻していく予定です。(副住職)

次号のご案内 令和五年六月上旬に発行予定です。